

銀行が内製したデータ連携 「お客さまに届く提案」を支えるデータ 利活用を実現

株式会社紀陽銀行
事務システム部 道 紀行



紀陽銀行プロフィール

- 銀行紹介
- 最近の取り組み

検討のきっかけ

- 登壇に至る背景
- そもそものきっかけ
- 何が必要であったか

DataSpider導入

- DataSpider Servistaって？
- DataSpiderの評価
- 導入後の状況と効果（数値）について

今後の展望

- 今後の展望
- セゾン情報システムズ様へ期待すること

紀陽銀行のプロフィール

銀行紹介



株式会社 紀陽銀行

- ◆ 設立日／明治28年5月2日
- ◆ 所在地／和歌山市本町1丁目35番地
- ◆ 資本金／800億96百万円
- ◆ 店舗数／111店
(和歌山県68カ店、大阪府40カ店
奈良県2カ店、東京都1カ店
※インターネット支店含む)
- ◆ 従業員数／2,317名(出向者を除く)
- ◆ 上場証券取引所／東証第一部

歴史に裏打ちされた実績を積み重ねてまいりました。

123年の歴史があります。

明治28年5月
株式会社紀陽貯蓄銀行設立

(平成30年6月30日現在)

68年前から大阪へ出店。

昭和25年6月
初の大阪府下店舗を開設

(平成30年6月30日現在)

地域における更なる
「存在感の向上」を目指して。

● 店舗網の数
(インターネット支店含む)
(平成30年6月30日現在)



大阪府
40店舗

サービスステーション
(店舗外ATM)

165拠点



和歌山県
68店舗

奈良県
東京都
3店舗

● 従業員数
(出向者を除く)
(平成30年3月末現在)

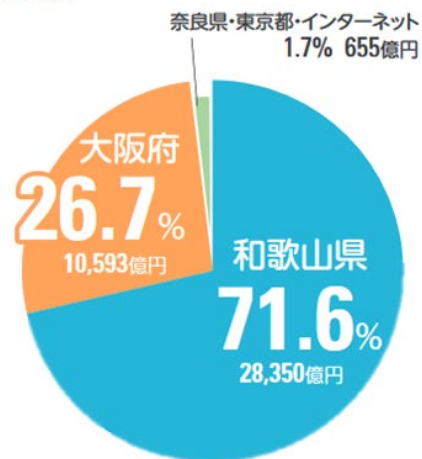
2,317名



地域とともに成長する戦略が浸透してまいりました。

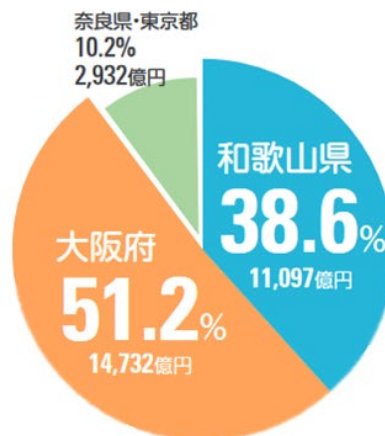
● 預金等地域別構成

(平成30年3月末現在)



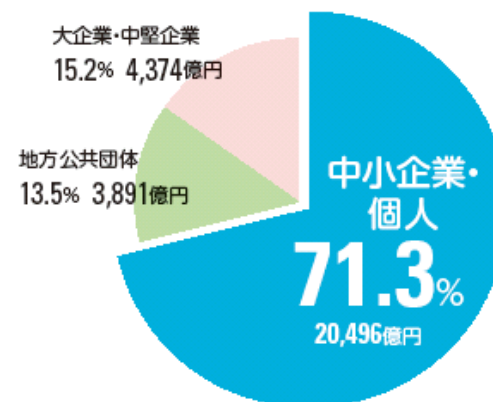
● 貸出金地域別構成

(平成30年3月末現在)



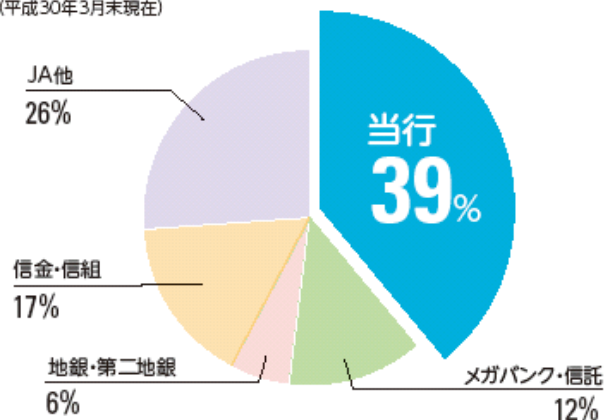
● 中小企業・個人のお客さまへの融資の状況

(平成30年3月末現在)



● 和歌山県内預金シェア

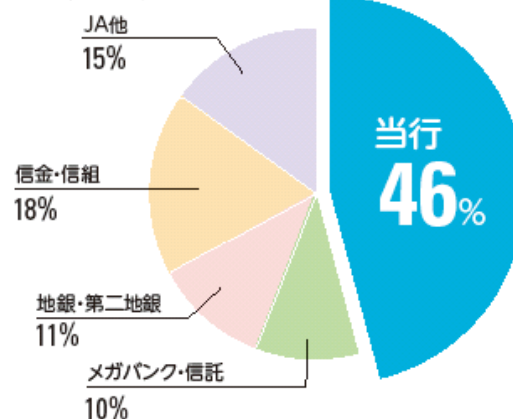
(平成30年3月末現在)



ゆうちょ銀行、政府系金融機関除く

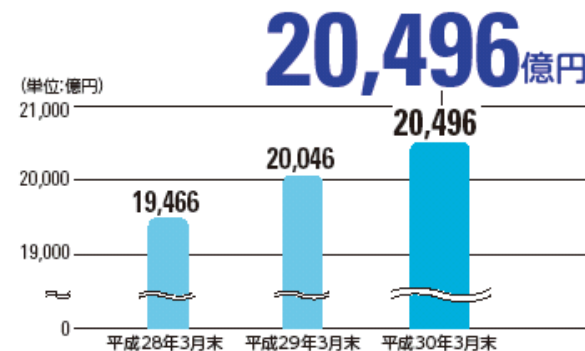
● 和歌山県内貸出金シェア

(平成30年3月末現在)



ゆうちょ銀行、政府系金融機関除く

● 中小企業等貸出金残高の推移



※ 中小企業等貸出金とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の会社および個人への貸出金

■ 第5次中期経営計画

お客さまに対するコミットメント

『どんな課題にも本気で向き合い、
お客さまの期待をこえる銀行となります』

紀陽銀行は、第5次中期経営計画において「地域における更なる存在感の向上と収益力の強化の両立」を基本方針として定め、「どんな課題にも本気で向き合い、お客さまの期待をこえる銀行」となることを約束します。

主要
テーマ

「中小企業取引において圧倒的競争力を有する地方銀行を目指す」

- 「地元企業の満足度向上」を最優先とする営業展開を通じて「顧客向けサービス業務利益」を徹底的に増強
- 「提案力(専門性の高いサービス)」と「柔軟性(親密さ)」を武器に、他金融機関を寄せ付けない営業活動を展開

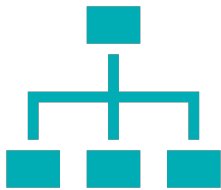
■ 発表者紹介

紀陽銀行 事務システム部 システム担当
Web開発グループ グループリーダー

道 紀行



■ 事務システム部のミッション



業務プロセス改革

検印レス、ペーパーレス、店内検査レス



IT戦略

オープンAPIの活用、スマホ活用



ITコスト削減

クラウド化推進、事務機器保守費等削減
外部委託業務費削減

検討のきっかけ

こんなお困りごとを持たれている方へ



**ユーザ部門の要望に
即対応したい！**



**特定の要員に仕事が
偏っている？**



といいつつも予算は限られている！

● 2005年

- ・次世代オープン勘定系システム「BankVision」採用
- ・HULFTを初採用(バージョン6)

● 2017年

データ利活用基盤を支えるため

DataSpider Servista を初採用

● 2018年

HULFT DAYS 登壇

DataSpider 導入企業・活用事例の増加

まわりは、変わった。銀行も変わる必要があった。

環境

- ・マイナス金利
- ・人口減少

競争

- ・競争激化
- ・再編加速

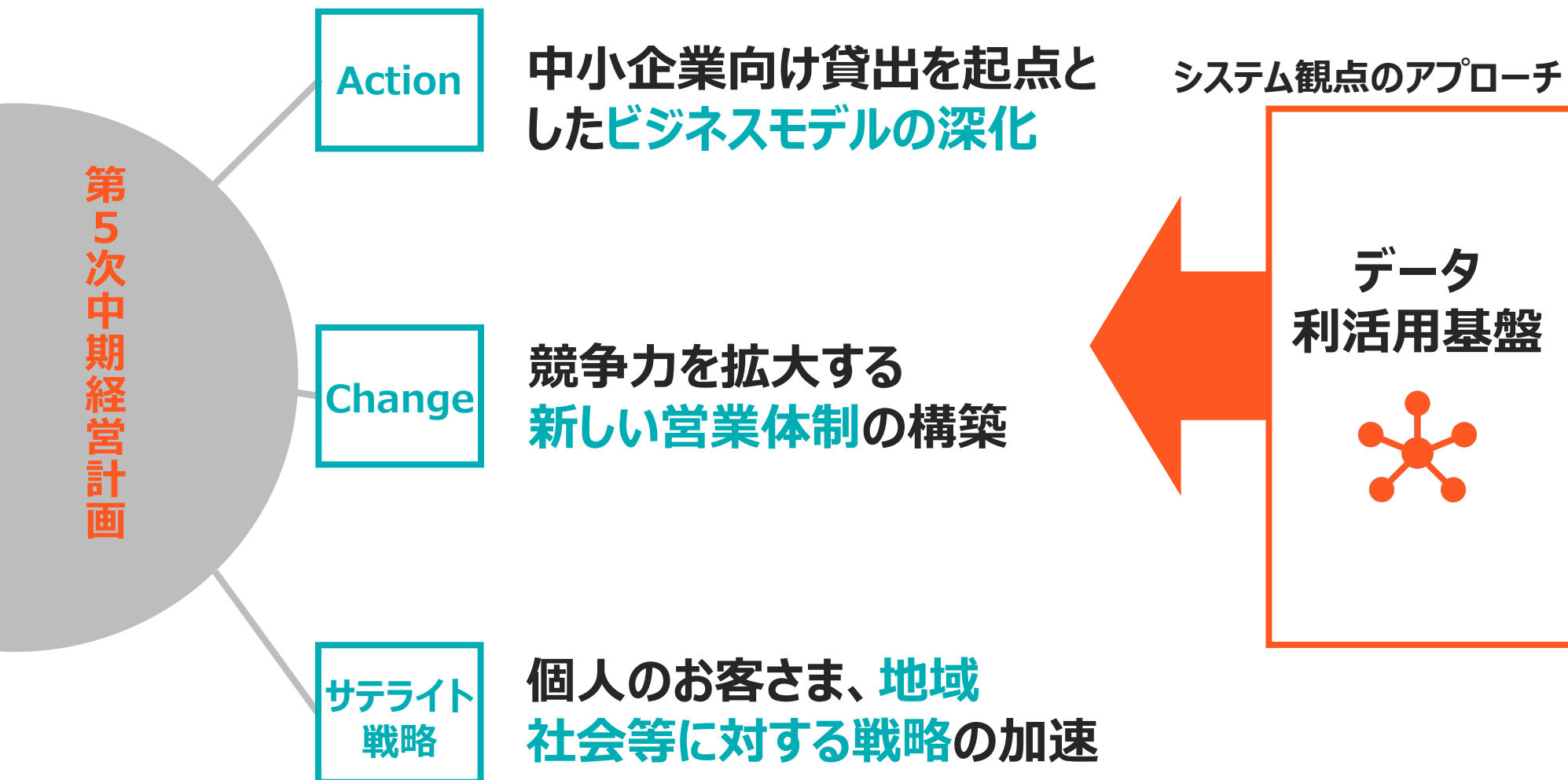
IT

- ・AI・Fintech等のICT革新
- ・デジタルトランスフォーメーション時代の到来

第5次中期経営計画

地域における更なる
存在感の向上と
収益力の強化の両立

システム観点で何をおこなうべきか



種々データベースは用意しました・・・
データ基盤を構築したものの・・・

..... ? ?



鮮度の高い情報をどう基盤に連携していくかがポイント

現状

- ・時間がかかる
- ・人がいない
- ・予算確保が大変



目指すべき姿

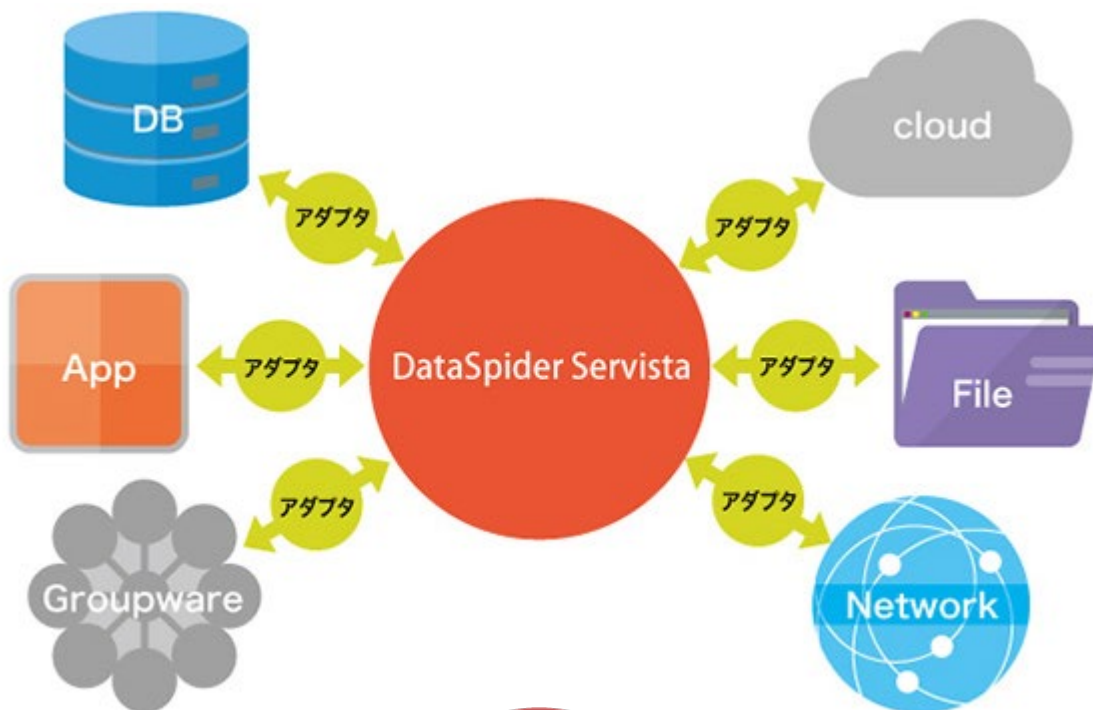
- ・**すぐに**連携できる
- ・**だれでも**利用できる
- ・できるだけ**安価**に

GAPをうめるためには・・・

変化する環境を吸収するため、つくるのではなく
つなぐ事ができる仕組みが必要

DataSpider Servista導入

DataSpider Servistaって？



つくりずにつなぐ



豊富な接続先

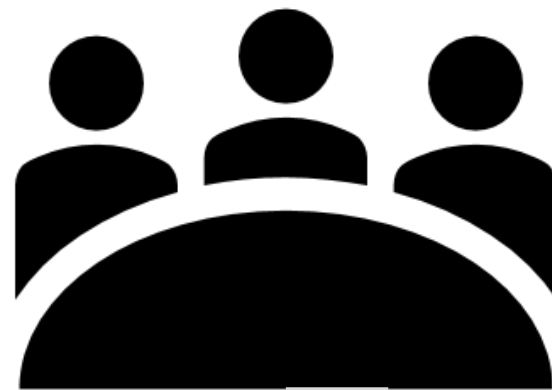


大容量データを高速に

- 使い易いのか

- やりたい事ができるのか

- 安心感はあるか

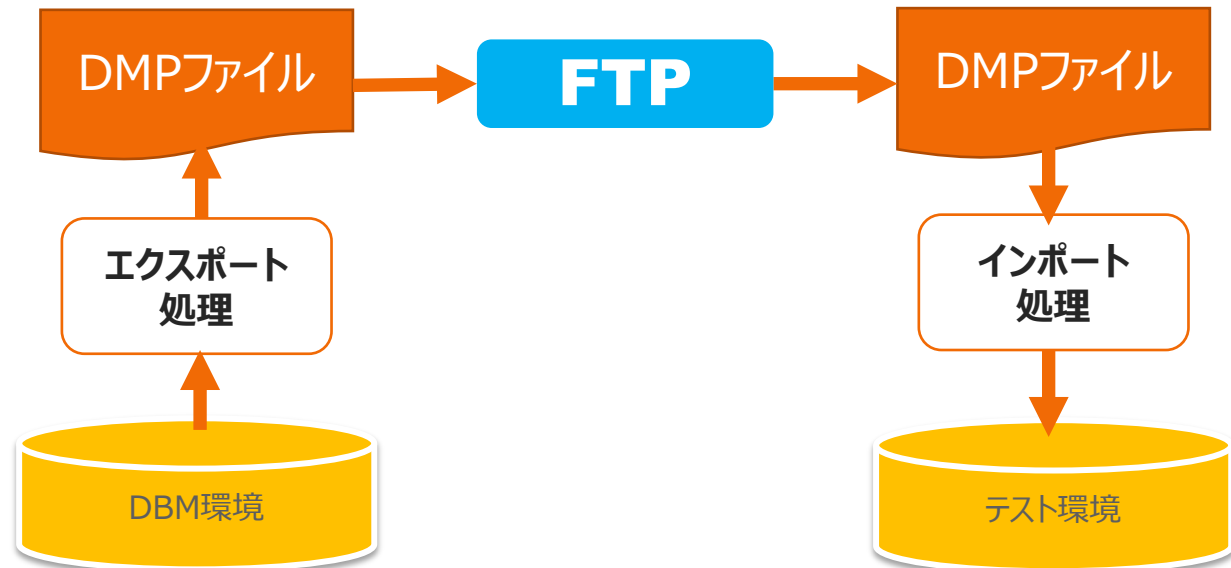


製品と同等機能の**評価版**を利用し

システム部のメンバーのみで

1カ月間、DataSpiderを触り倒しました

既存処理

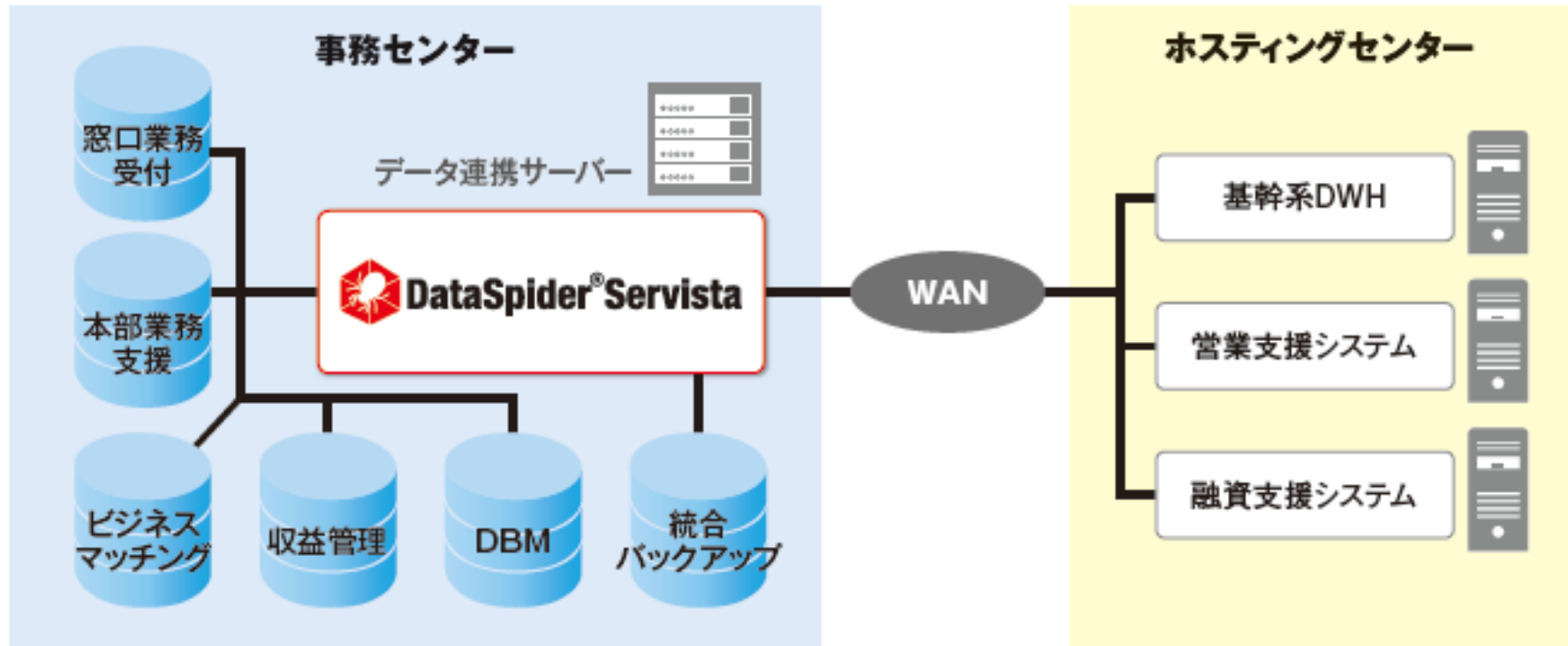


DataSpider処理



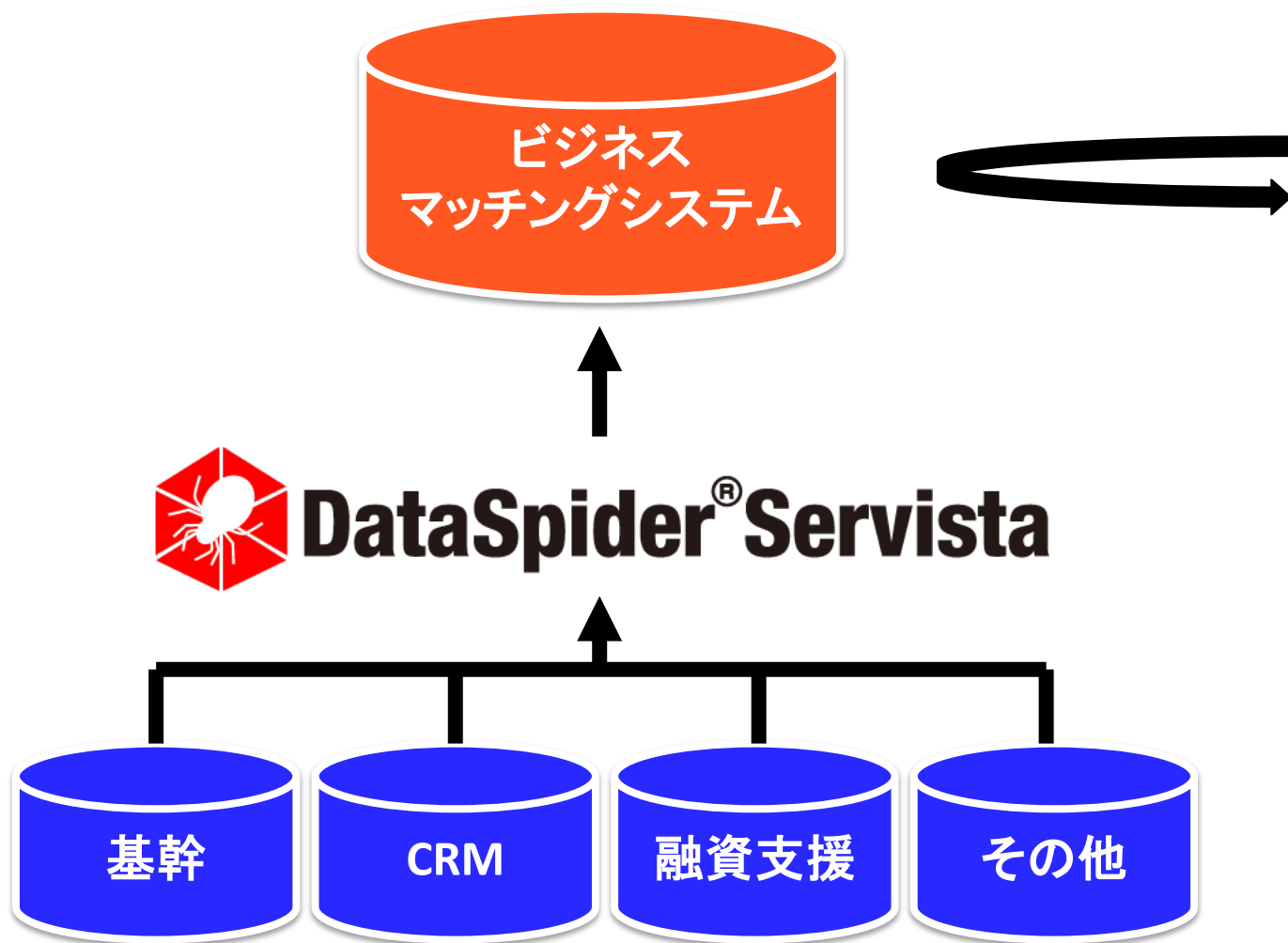
処理時間約 **3 割**、開発工数約 **7 割削減**

DataSpider導入によるデータ連携基盤のネットワーク構成図



DataSpiderを中心に、次々にデータ連携を実現

例：ビジネスマッチングシステム



- ・ 候補先の絞り込み
- ・ リストアップ



商談！

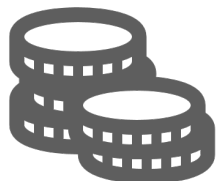




1 システムあたり、
納期 1～2カ月の短縮を実現



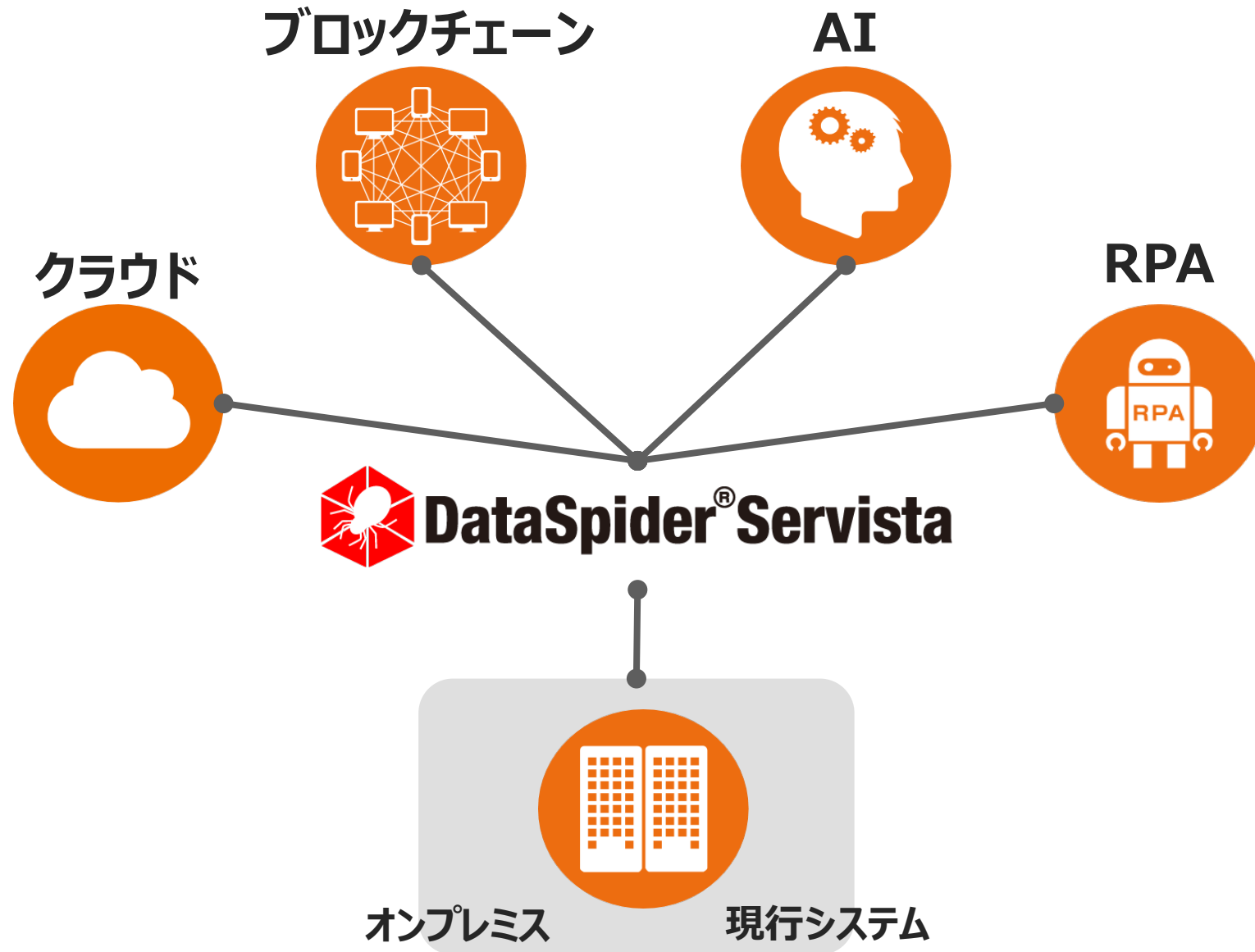
ある程度のスキルがあれば**使いこなす**ことが可能



条件によっては、**数百万を内製化**

DataSpiderファーストでシステム検討を推進

今後の展望



スクリプト(作成資材)のリリース管理機能の充実

開発環境/本番環境においてのスクリプト(作成資材)管理
及びリリース機能の強化



DataSpiderに関する業界での知名度アップ

直接接続ができないシステムへの対応（特にPKG製品）

⇒「DataSpiderでのDB接続」をシステム導入時の前提条件へ

ご清聴ありがとうございました